

地域おこし協力隊活動報告書 令和6年8月分



古家のぞみ

出身：千葉県市川市
趣味：編み物
着任日：令和5年4月（2年目）

22才になりました～★



活動内容：「解説指導員の会」と田平地区の活性化

- ①たびら昆虫自然園解説指導員の会での活動
- ②地域資源を活用したイベントなどの企画・実施
- ③田平町の情報発信（SNS）

園の解説案内等

気温が高い日が続いていますが、生き物は活発に動いています。県内外から虫好きの親子連れが多く来園され、ガイドとして気合を入れて頑張らせていただきました。遠くは横浜から来ていただいてとてもありがたく感じています。

夏休みということもあり、今月は解説指導員の方と協力して園の解説案内を中心に活動し、8月の一般案内は私だけで60回、427名、団体を1件、10名対応しました。

7月に引き続き、来園者にはカブトムシとクワガタが人気です。カブトムシやクワガタはクヌギの樹液が大好物！来園者には昆虫の気持ちになってもらいクヌギの樹液の匂いを直接嗅いでいただきました。皆さんは樹液の匂いが、どのような匂いだと思いますか？来園者の方からは、昆虫ゼリーや木工用ボンドに似た匂いという感想が多かったです。

また、今月もA3両面の解説指導員会報「虫ぶえ」の編集・発行・送付を行いました。現在指導員の会は22名の方が活動しています。そのうちガイドをしているのは、私を含めて10名です。ガイドをされていない方に向けて、解説案内を実施する際の参考になるよう、園内で新しく見られた生き物の紹介を行いました。

イベントの報告

18日(日)田平中央公民館主催の公民館講座では、講師として「セミの抜け殻大調査」を田平公園で開催しました。子ども4名大人4名が参加しました。

セミのぬげがらを探すなかで、普段は気付かないバッタやチョウなどの生き物を見つけ、子ども達は大喜び！注意深く観察することで、いろいろな生き物と出会い、子ども達の虫に対するワクワクが大きくなりました。親子で田平の自然に親しみ学ぶことができ、夏休みのいい思い出となった講座になったと思います。

今後も田平町の自然を活用して、子ども達の思い出と学びに繋がるような講座を企画していきたいと思っています。

まち協等での活動



8日(木)まちづくり計画ブラッシュアップ実行委員会に出席し、田平まち協の事業の見直しと田平町の隠れた名所探しを目的に、改善点や今後のまち歩きイベントの内容について会議を行いました。

今年度実施した住民アンケートの中で、子どもの遊び場が少ない事、田平町の自然を誇りに思う方が多いことから、涼しい時期に田平町の自然を生かした遊び場になるような場所を作るのはいかがでしょうかと提案しました。

引き続き、町民の方の意見を伺いながら、田平町のまちづくりに貢献できるような活動をしていきます。

園内で新しく見られた生き物



<カブトムシ、アオカナブンなど>

7月から引き続き、クヌギには多くの甲虫が確認され、特にカブトムシが多く見られています。

7月はクワガタ、8月はカブトムシが多い傾向にあります。お盆の時期になるとクワガタの個体数が増加します。

※甲虫とは、カブトムシやカナブンなどの背中が固い殻を持つ昆虫の一種です。

今後のイベント

11月23日(土)開催予定の田平中央公民館主催の公民館講座では、講師として小学生を対象に「落ち葉でクリスマスオーナメントづくり」を実施します。詳細は10月分の活動報告書で掲示しますので、興味のある方の参加をお待ちしております。